

私学ぐんま

13号
2013



第62回全日本大学野球選手権大会 優勝 上武大学 (上)
 第95回全国高校野球選手権記念大会 優勝 前橋育英高校 (下)

目次

● 理事長ごあいさつ……………	2	● でーた いま……………	6
群馬県私学振興会 理事長 森本 純生		● 群馬県私学振興会 会員校(園)名 ……	7
● 下村博文文部科学大臣を囲んで……………	2	● 表彰受賞者……………	8
● 特色ある私学教育……………	3	● 職業実践専門課程……………	8
● 退職してその後……………	4・5	● 編集後記……………	8

ご あ い さ つ



理事長
森本純生

群馬県私学振興会は、平成24年4月1日に公益財団法人に移行して以来、2年が経過しようとしています。

本年度も、各会員の皆様のご理解とご協力、役員の皆様のご努力のお陰により、退職手当資金の給付事業をはじめ、融資あっせん事業、経営資金貸付事業などの私学振興業務は順調に推移してまいりました。心から感謝申し上げます。

特に、県内の私学教育の充実及び振興に資するために実施してきた私学教員の海外研修事業については、昭和56年度に私立中学高等学校協会が始め、昭和58年に私学振興会が発足して以降は私学振興会の事業として平成14年度まで実施し、その後諸般の事情により中断していましたが、本年度、各学種のご協力により11年振りに再開しました。今回は、10月14日から23日までの10日間、野口秀樹中学高等学校協会長・原徳明幼稚園協会長等15名の参加により、ヨーロッパの4都市（ウィーン、ミュンヘン、ロンドン、パリ）の学校視察等が行われました。この研修成果は、今後、学校運営や教育現場に活かしていただきたいと考えております。

また、本年度は、第62回全日本大学野球選手権大会においては上武大学が初優勝し、甲子園球場で行われた第95回全国高等学校野球選手権記念大会においては前橋育英高等学校が初出場で初優勝の快挙を成し遂げました。大学、高等学校ともに本県私学が全国制覇を達成したものであり、我々にとっても誠に栄誉なことであります。

各分野における私学の活躍と飛躍を期待しているところであります。

私立学校を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、役職員一同一致協力して私学振興会の運営に当たってまいりますので、今後とも会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

下村博文文部科学大臣を囲んで



平成25年7月17日、高崎市（旧倉渕村）の出身である下村博文文部科学大臣が高崎市を訪れました。その際、下村大臣は、高崎商科大学を訪れ、群馬県私学振興会の理事長、副理事長等と親しく懇談されました。席上、私学振興会の役員は、群馬県の私学の現状や課題等を説明するとともに、各学種の立場から私学支援の充実等に関する陳情を行いました。下村大臣からは、最近の私学政策に関する積極的な考えが示されました。

特色ある私学教育

今こそ、特色ある幼児教育を

木崎町幼稚園園長 松尾 崇 恵



私の幼稚園は曹洞宗大通寺の境内にある仏教園です。園児や送りの保護者もまずご本堂前で「のの様おはようございます。今日一日良い子でいます」と手を合わせてご挨拶をし一日が始まります。先代は教師の信条とし



て「慈悲心をまず第一とせよ」と教員たちを指導しました。園庭は大変広く樹齢500年を超える榎をはじめとし大銀杏、曙杉や桜、夏にはカブト虫やクワガタなどが集まるクヌギの木、秋にはたわわに実った木の実を落としてくれる椎の木やこなら、まてばしい、柏の木など自然の恵み豊かな環境にあります。

私がこの幼稚園の世界へ入ったのは昭和54年からでした。何もわからない私でしたが勤勉な主任に巡り合い、一緒に勉強させられ…ました。10年後に教育要領の大転換期を迎え、研修研修の日々でした。幸い、幼稚園教科調査官の岸井勇先生、学芸大学教授・同幼稚園園長の近藤充夫先生とのご縁ができ薫

陶を受けました。教師主導の教育から子供中心の教育、幼児期にふさわしい教育を展開する事になり6領域から5領域へ。具体的に述べれば、幼稚園の基本は環境を通して行う教育。特に重視することは、1、幼児期にふさわしい生活の展開 2、遊びを通しての総合的な指導 3、一人ひとりの発達の特性に合った指導。この教育要領は10年ごとに改定され今は20年に改定されたものですが、内容はほとんど平成元年の改定を踏襲しており今に至っています。現在はこの教育要領改革よりももっともっと大変大きな改革が進行中です。この制度改革は、消費税が10%になる平成27年から導入されます。今、その前段のこども子育て会議なるものが国・県・市町村において始まっています。その制度の内容は幼稚園保育園の一本化、すなわち幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省の管轄であったが内閣府に。幼稚園は県から市町村へと移ります。認定こども園は新制度移行の日に単一の施設である新たな幼保連携型認定こども園として認可があったものとみなされ、学校教育法第一条に規定される法的地位を失い、認定こども園法に基づき学校であると同時に児童福祉施設としての性質を有する施設となります。公定価格になれば今まで以上に保護者がより良い幼稚園・保育園を選択することになるでしょう。選ばれる幼稚園となるために私達が取り組まねばならないことはまさに特色ある幼児教育を行うことです。だからと言って独善で独りよがりであってはならない。どのように時代が変化しようとも人間の本質そのものは変わりません。いえ、変わってはいけないのです。人間として育つ根っこを育てるという重責を自覚し、今こそ教育要領の精神を土台とし、建学の精神に則った「自園の教育の展開」をしていく大切な時期であると痛感しております。



中嶋 隆さん

元高崎健康福祉大学 教授



平成25年3月をもって、高崎健康福祉大学を退職しました。11年間の勤務でしたが、大学の前身である群馬女子短大の非常勤講師時代を含めると19年間と長きにわたりお世話になりました。私は、元群馬県職員で、食品衛生に携わった関係もあり、現役中から非常勤講師となり、定年退職後、2年間の民間団体の勤務をへて、新設となった大学にお世話になるようになりました。その後、学年進行とともに新設された大学院の修士課程(前期)、博士課程(後期)にも関与するようになりました。

大学は、学生の夢を実現するところだと考え、私自身もそれなりの小さな夢を抱き、学生とともに育んできました。幸いのことに、大学の学歌も「夢のはじまり」であり、少しは学生の夢をかなえられたかなと思っております。

退職して、早くも半年を過ぎ、本来は在職中にしなければいけなかったことですが、ボケ防止を兼ねて学生たちがまとめた論文等の校正や研究資料から学会誌等に投稿できるものがあればと思い、図書館等で資料集めなどしており、今でも大学の関係者にはいろいろとお世話になっております。また、時間を見つけて近くのスポーツクラブに通って、体力づくりにも努めております。

終わりに、群馬県の私学振興に尽力された関係者に感謝を申し上げるとともに、(公財)群馬県私学振興会のご発展を念じ上げます。

小茂田恵三さん

前 前橋育英高校 校長

平成24年3月、任期満了となり前橋育英高校を退職致しました。昭和50年の奉職ですので、37年間お世話になりました。育英50年の歴史の中に、自分も参画できたことに改めて感慨ひとしおです。就中、7年間の校長在任中は、学園を始め、私中高協会・私学振興会関係各位には多大なるご指導ご支援を頂きました。深く感謝しております。有り難うございました。

退職後は、僅かばかりの田畑を耕作して、農業の真似事に明け暮れています。当初は悠々自適の生活を当て込みましたが、現実には厳しく、春の種蒔き、夏の植え込み、秋の収穫と一つのサイクルを経験した今、その難しさに圧倒され、現場作業の苛烈さに疲労困憊しています。加えて、気紛れな天候にも辟易させられます。5月6月は干ばつに苦しみ、9月10月は頻りにやってくる台風にうんざりしています。それでも、耕作放棄地を見ると放っておかず、地主と交渉して借り受け、今年は田圃4反・畑3反と倍増させました。栽培方法も農薬と化成肥料の使用を極力控えた有機栽培に拘っています。稲の収穫も昔ながらのはぎ掛け・天日干しで行っています。お米一粒一粒が艶やかに輝き、歯応えにも弾力があって本来の甘みが口いっぱいに広がります。有機栽培によるとその他の野菜も、その持てる本来の食味が増すと、一人で合点しています。

「古き良きもの」という言葉がありますが、古いものや昔ながらの方法には人間の知恵が込められています。知恵の集積は現代にも十分通用する力です。一人の人間に敷衍してもそうで、高齢者は単に馬齢を重ねただけでなく積み重ねた知恵を持っています。この知恵の活用こそが、時代が抱える諸問題を解決する一つの手掛かりだと、痛切に思う昨今です。



(はぎ掛けの田圃から榛名山を望む)

友野 佳代子さん

元高崎天使幼稚園 教諭



「先生大好き」と両手を広げニコニコ笑顔で飛び込んでくれた子ども達。在職中は、毎日子ども達や保護者の皆様から愛情やパワーを貰い癒され、園長先生を始め先輩や後輩にも恵まれ、楽しく保育をさせて頂き感謝の気持ちいっぱいです。ありがとうございました。

いつも障害の子どもに対して「これなら一緒に出来るね」と子ども自身が考え困りを助け、「障害の子どもと共に参加出来るものを」と保護者の方からも温かい言葉を頂き、子どもの心の広さと保護者の愛情の深さを強く感じていました。平成25年3月に24年間勤めた天使幼稚園を退職し、現在「れいんぼ〜」で働かせて頂いています。

早期療育を大切にしているれいんぼ〜には、児童発達支援（2歳～6歳）・放課後等デイサービス（小・中学生）の子ども達が通っています。児童発達支援では、子ども達に分かりやすいよう製作や運動（感覚遊び）など一日の流れをスケジュール表にし、一人ひとりがカードを確認して活動に参加できるように援助したり、放課後デイでは、子どもに合わせたスケジュールを組み個別・自立課題の指導や運動・SST（社会性やコミュニケーションのとり方の学習）など一緒に学んでいます。

子ども達との関り方・言葉のかけ方の難しさなどありますが、子ども達の困難さが「できた」に変わったときの笑顔で喜ぶ姿が嬉しくて、毎日感動しながら楽しく過ごしています。障害もその子の「個性」一人ひとり歩はゆっくりですが「子どもたちから学ぶ」と言う気持ちを忘れずに、子どもの気持ちに寄り添い子どもと共に成長していきたいと思っています。



楠 舞さん

元高崎文化服装専門学校 理事長・学校長



熱せられた鉄アイロンの香ばしい香り、足踏みミシンのリズム、沢山の傷が刻まれた無垢の裁断機・・・祖父母が設立したこの学校で、母の「お教室」の修了時間をいつも待っていた幼い頃。

神様から突然の辞令を受け、平成23年2月、理事長職を継承いたしました。そして、平成25年3月、最後の卒業生が巣立つのを見届け、70年に渡る学校の歴史に幕を降ろし、役目を終えました。苦渋の決断に身を焼かれ、心が折れそうになることもありましたが、家族と教職員に支えられ、役員の方々、他校の理事長先生、校長先生、私学振興会および県庁学事法制課の皆様など、多くの方々のご厚情を賜り、何とか無事に職務を全うすることができました。この場をお借りして改めて深謝申し上げます。受けたご恩の有難さが、こんなにも心に沁みる2年間でした。

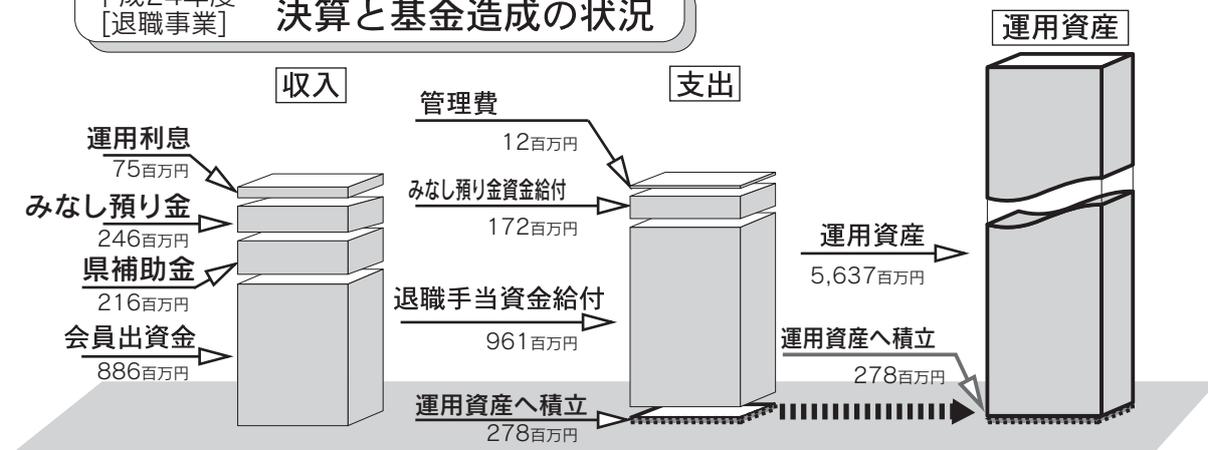
現在は前職である医師の仕事に復帰し、神奈川県総合病院で診療に従事しております。「お教室」で感じていた温かい雰囲気、先生方の慈愛のまなざしと手ほどきをお手本に、日々診察を心がけております。プライベートでは、念願の新築でガーデニングをしたり、友人を招いて手料理（主人の）でお・も・て・な・しをしたり、穏やかに暮らしております。これからも、神様の気まぐれに振り回されながら色々な経験をし、人生を楽しんでいきたいと思っています。

末筆ながら、皆様のご健勝と、本県私学の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。

で~たいま

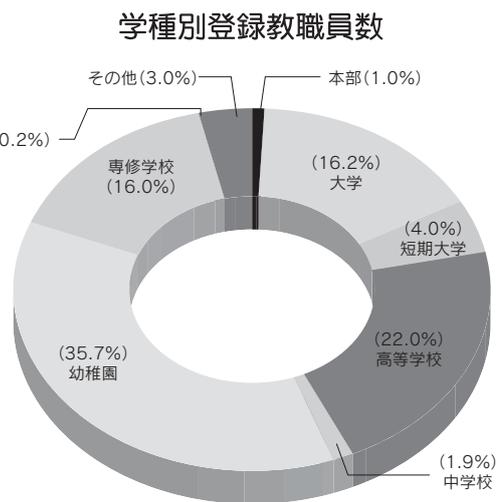
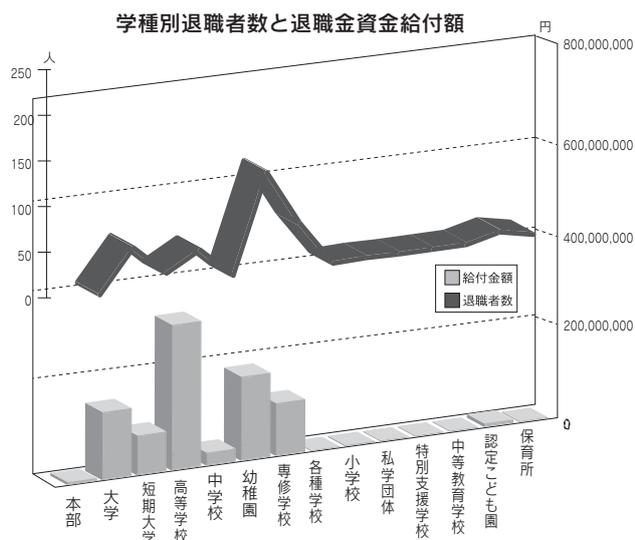
平成24年度
[退職事業]

決算と基金造成の状況



収入 1,423百万円 - 支出 1,145百万円 = 運用資産へ積立 278百万円
 出資金・補助金・利息等 退職手当・管理費等 将来の給付に備え基金造成
 年度末運用資産額 5,915百万円

退職手当資金給付制度は、毎月の会員（学校）から納入された出資金と毎年交付される県の補助金を原資に、教職員が退職したときに支給される退職手当の資金を、会員（学校）に給付する制度です。



平成24年度 学種別会員学校教職員数・退職手当資金給付状況

学種	学校数(本部除人)	教職員数	退職者	給付金額	退職者一人当り金額
本部	(11)	33	1	3,472,000	3,472,000
大学	7	490	49	135,767,667	2,770,769
短期大学	8	119	15	78,781,687	5,252,112
高等学校	14	660	36	293,037,598	8,139,933
中学校	5	58	2	24,221,000	12,110,500
幼稚園	120	1,077	113	168,247,329	1,488,914
専修学校	46	483	50	104,908,919	2,098,178
各種学校	5	6	0	0	0
小学校	2	33	1	192,000	192,000
私学団体	4	3	0	0	0
特別支援学校	1	10	0	0	0
中等教育学校	0	0	0	0	0
認定こども園	7	34	9	4,737,600	526,400
保育所	2	5	1	0	0
総計	221	3,011	277	813,365,800	2,936,339

群馬県私学振興会 第1号会員及び第2号会員校(園)名

[平成25年10月現在]

*五十音順

《学校法人本部》	いなり幼稚園	台之郷幼稚園	若葉キッズ園
小倉学園本部	えのき幼稚園	高崎健康福祉大学附属幼稚園	《専修・各種学校》
共愛学園本部	太田いずみ幼稚園	高崎商科大学佐藤幼稚園	育英メデイカル専門学校
桐丘学園本部	太田仁愛幼稚園	高崎天使幼稚園	伊勢崎美容専門学校
群馬英数学館本部	太田幼稚園	たから幼稚園	大泉文化服装専門学校
群馬育英学園本部	大利根南幼稚園	田部井幼稚園	太田医療技術専門学校
群馬県美容学園本部	大利根幼稚園	ちぐさ幼稚園	専門学校太田自動車大学校
高崎商科大学法人本部	大利根幼稚園	堤ヶ岡幼稚園	太田情報商科専門学校
奈良原学園本部	大間々南幼稚園	東部文化幼稚園	太田動物専門学校
新島学園本部	鬼石幼稚園	富岡幼稚園	大原スポーツ公務員専門学校高崎校
平方学園本部	粕川幼稚園	中居幼稚園	大原簿記情報ビジネス医療福祉専門学校
未来学園本部	甘楽幼稚園	中川幼稚園	緒形裁縫学院
《大学・短期大学》	木崎町幼稚園	長野幼稚園	小野池学院
共愛学園前橋国際大学	共愛学園幼稚園	なかよし幼稚園	群馬法科ビジネス専門学校桐生校
桐生大学	桐生大学附属幼稚園	七日市幼稚園	群馬県美容専門学校
上武大学	金山幼稚園	沼田幼稚園	群馬県理容専門学校
高崎健康福祉大学	くまの幼稚園	のぞみ幼稚園	群馬社会福祉専門学校
高崎商科大学	群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園	のびのび幼稚園	群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校
育英短期大学	ぐんま幼稚園	榛名愛育幼稚園	群馬朝鮮初中級学校
桐生大学短期大学部	恵泉幼稚園	東別所幼稚園	群馬調理師専門学校
群馬医療福祉大学	元景幼稚園	東横野幼稚園	群馬日建工科専門学校
高崎商科大学短期大学部	光泉幼稚園	ひかり幼稚園	群馬パース福祉専門学校
新島学園短期大学	光泉幼稚園	ひばり幼稚園	群馬ブライダルビジネス専門学校
明和学園短期大学	こだま幼稚園	ひまわり幼稚園	群馬法科ビジネス専門学校
《高校・中学校》	木の実幼稚園	ひろせ幼稚園	国際ファッションアート専門学校
関東学園大学附属高等学校	こひつじ幼稚園	藤岡幼稚園	小百合料理学園
共愛学園高等学校	駒形幼稚園	藤岡岡成幼稚園	さわらび服装専門学校
桐生第一高等学校	駒寄幼稚園	富士幼稚園	昭和服装専門学校
樹徳高等学校	高南幼稚園	富士見幼稚園	白ゆりファッション専門学校
白根開善学校高等部	国分寺幼稚園	二子山幼稚園	シルバー高等編物学院
高崎健康福祉大学高崎高校	櫻丘幼稚園	宝泉北幼稚園	専修学校群馬芸術学園
高崎商科大学附属高等学校	さくら幼稚園	ポケット幼稚園	専門学校群馬自動車大学校
東京農業大学第二高等学校	サムエル幼稚園	マーガレット幼稚園	高崎医療技術福祉専門学校
常磐高等学校	さわらび幼稚園	まきば幼稚園	高崎歯科衛生専門学校
新島学園高等学校	山王幼稚園	松原幼稚園	高崎動物専門学校
前橋育英高等学校	三宝幼稚園	みどり幼稚園	高崎ペットワールド専門学校
明和県央高等学校	敷島幼稚園	南幼稚園	高崎ビューティモード専門学校
学芸館高等学校	慈教幼稚園	三山幼稚園	高崎和服専門学校
共愛学園中学校	慈照幼稚園	明星幼稚園	柘植経理学校
桐生大学附属中学校	渋川大島幼稚園	みよし幼稚園	柘植珠算学校
ぐんま国際アカデミー高等部	城南幼稚園	みよし第二幼稚園	中央医療歯科専門学校
ぐんま国際アカデミー中等部	樹徳幼稚園	むつぎ幼稚園	中央工科デザイン専門学校
樹徳中学校	しょうび第一幼稚園	むつみ幼稚園	中央情報経理専門学校
白根開善学校中等部	しょうび第二幼稚園	明德幼稚園	中央情報経理専門学校高崎校
新島学園中学校	上武大学附属幼稚園	明和幼稚園	中央農業グリーン専門学校
《小学校》	常楽幼稚園	元総社幼稚園	中島和洋裁縫学院
ぐんま国際アカデミー初等部	白ばら幼稚園	桃瀬幼稚園	NIPPONおもてなし専門学校
白根開善学校初等部	城山幼稚園	八幡幼稚園	ニュースタイル学院
《特別支援学校》	白ゆり幼稚園	隆興寺幼稚園	東群馬看護専門学校
若葉高等学園	新明幼稚園	わかくさ幼稚園	東日本製菓技術専門学校
《幼稚園》	すぎの子幼稚園	若栗幼稚園	東日本調理師専門学校
愛の光幼稚園	すみよし幼稚園	若葉幼稚園	東日本デザイン&コンピュータ専門学校
朝日が丘幼稚園	すみれ幼稚園	《学校法人立保育所》	東日本栄養医療専門学校
あさひ幼稚園	清華幼稚園	太田いずみ	東日本ホテルトラベル専門学校
阿左美幼稚園	清心幼稚園	共愛学園木瀬保育園	フェリカ建築&デザイン専門学校
安中二葉幼稚園	清風幼稚園	たかみ保育園	前橋医療福祉専門学校
石井幼稚園	静和第二幼稚園	中居プレキンダー	前橋東洋医学専門学校
いずみ幼稚園	静和第三幼稚園	沼田保育舎	前橋文化服装専門学校
磯部幼稚園	赤心幼稚園	みどりナーサリースクール	ミノリ文化服装学院
いちごばたけ幼稚園	第二あさひ幼稚園	水上保育園	
	第二ひかり幼稚園		

受賞おめでとうございます

(平成25年度 表彰受賞者)

叙勲 瑞宝双光章

松尾 崇恵 (木崎町幼稚園 園長)

調理師法施行55周年記念全国大会 (平成25年度)

調理師養成功労者厚生労働大臣表彰

関崎 悦子 (桐生大学 理事長)

県文学賞

渡辺 俊之 (高崎健康福祉大学社会福祉学科
学科長・教授)

永年勤続者顕彰

石原 妙子 (共愛学園高等学校 講師)

塩田 英男 (前橋育英高等学校 教諭)

得地 民子 (前橋育英高等学校 教諭)
手島 正弘 (前橋育英高等学校 教諭)
田村 章 (高崎商科大学附属高等学校 教諭)
齋藤 薫 (高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭)
根岸 恵子 (高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭)
山下 正 (高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭)
福田 亨 (桐生大学附属中学校 教頭)
中島 雅樹 (桐生第一高等学校 教諭)
須永 忠 (常磐高等学校 教諭)
金井 真次 (常磐高等学校 教諭)
山崎 宏志 (常磐高等学校 教諭)
杉田 和彦 (関東学園大学附属高等学校 教諭)
森田 伸 (関東学園大学附属高等学校 教諭)
山下 昌美 (関東学園大学附属高等学校 教諭)
嶋田 英一 (明和県央高等学校 教諭)
津久井 武 (明和県央高等学校 教諭)
芝崎 進一 (明和県央高等学校 教諭)
立木 泰浩 (明和県央高等学校 教諭)

文部科学省 官報で告示

[職業実践専門課程]

26年度から先導的試行スタート

文部科学省は8月30日、専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程を官報で告示、同日より公布・施行された。同専門課程は、中央教育審議会の答申や文科省の協力者会議等の提言を受けて創設されたもので、新しい学校種に向けた先導的試行とされており、一定の要件を満たした専修学校の専門課程「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定・奨励することにより、専門課程における職業教育の水準の維持・向上を図ることが狙い。平成26年度からスタートする職業実践的な教育に特化した同専門課程の先導的試行は、再来年、制度創設40周年を迎える専修学校にとって一条校への「布石」ともいえるもので、今後の専修学校の発展を占う上で、それぞれの専門学校における同専門課程への対応が注目される。(専門学校新聞より)

編集 後記

経営マネジメントでのPDCAサイクルが教育の営みでも取り上げられるようになってきました。「始め良ければ終わり良し」とはよく言われますが実現は容易なことではありません。そこでのプロセスを可視化させ、丁寧に発信できてこそ「教育の質」を裏付けることに繋がります。また「始め半分」という言葉もあるように、最初の取り組みを大切に、途中の評価・検証で手ごたえを実感することで順調な進行は維持され、必然的に結果を導きます。今年も私学では数多くの好実績がありました。「終わり良ければすべて良し」と、今年の私学団体を物語ってくれているようです。(副委員長 柳 晋)

公益財団法人 群馬県私学振興会

理事長 森本純生

広報委員会

鈴木良幸・柳 晋・中村義寛・大川 義

〒371-0854

前橋市大渡町1丁目10番7号

群馬県公社総合ビル6階 私学センター内

TEL 027(255)6851 (振興会)

027(280)6207 (退職資金事業)

FAX 027(280)6208

URL

<http://www.shigaku-gunma.or.jp>

平成25年11月発行

